

SynchRoid 11.4.0.3について

アジェンダ

- **11.4.0.3バージョンアップ目的について**
- 11.4.0.3への移行と顧客への影響
- 11.4.0.3の既知の事象について

下記不具合修正のためv11.4.0.3をリリース

対象	解決した事象	発生バージョン
1 MC	1つのクラスタに複数のRoboServerが設定されている環境では、各RoboServerにKCUが均等に分配されない場合があります。 ナレッジ： https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/20229523871897 https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/20230840824217	11.4.0.2

11.3→11.4の新機能について

11.3→11.4の新機能については、 インストーラーダウンロードページから11.4.0.2の説明資料をご参照ください。

説明資料掲載URL(ベーシックパックのお客様) : https://www.synchroid.jp/rpa_portal/coe9b/

説明資料掲載URL(ライトパックのお客様) : https://www.synchroid.jp/rpa_portal/kw27l/

【例：ベーシックパックのお客様の場合】



Windows	2023/07/04	11.4.0.2	SynchRoid_11.4.0.2_x64_JP.msi	ダウンロード	資料
Windows	2023/07/04	11.4.0.2	SynchRoid_DesignStudio_11.4.0.2_x64_JP.msi	ダウンロード	資料
Windows	2023/07/04	11.4.0.2	SynchRoid_DesktopAutomation_11.4.0.2_x64.msi	ダウンロード	資料

アジェンダ

- 11.4.0.3バージョンアップ目的について
- 11.4.0.3への移行と顧客への影響**
- 11.4.0.3の既知の事象について

バージョンアップ時のロボットへの影響 (1/7)

v11.4.0.3にバージョンアップする場合、下位バージョンで作成したロボットへの影響が判明している事象は下記の通りです。

各事象の詳細については、次頁以降を参照ください。

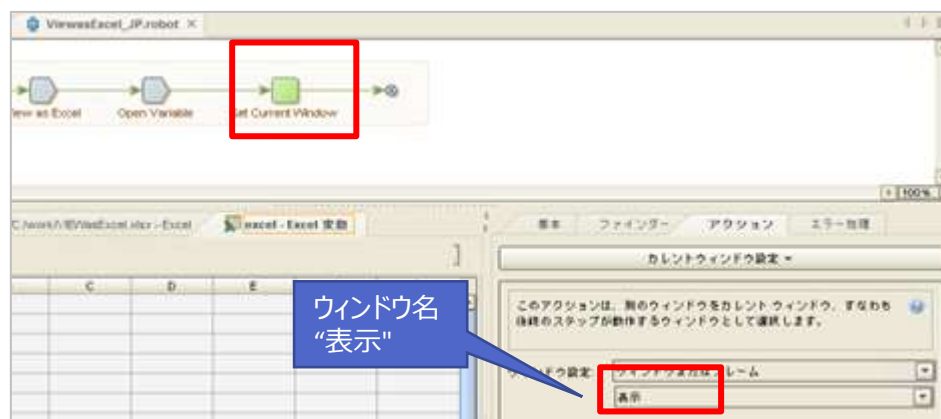
※検証内容は、スキルトレーニングでよく利用されるステップを対象としています。

	移行元バージョン	v11.4.0.3にバージョンアップ時の事象	対応方法
1	v10.3.x v10.4.x v10.7.x	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、「Set Current Window」ステップのウィンドウ名称がv11.1以降では「View」と表示されます。v10.3.x～v10.7.xの日本語版DSでは「表示」となっているため、対象のバージョンのロボットをv11.4.0.3に移行した場合エラーとなります。	移行元または、移行先バージョンで、読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行う場合は、ウィンドウ名のリストの「表示」を「View」に変更します。
2	v10.3.0.2	DS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”で指定しているためエラーとなります。	ファインダーでExcelのシート名に「シート」を設定している場合は、「sheet」に変更します。
3	v10.3.0.2	「Set Current Window」ステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」が指定されているためエラーとなります。	「Set Current Window」ステップにてウィンドウ設定に「名前がありません」を設定している場合は、「Unnamed」に変更します。

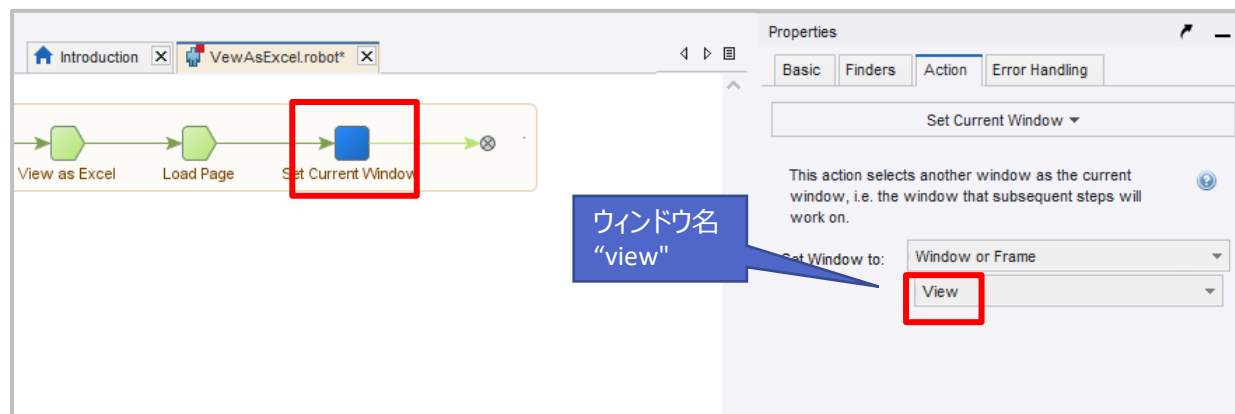
移行元バージョン	v11.4.0.3にバージョンアップ時の事象	対応方法
4 v10.3.x v10.4.x v10.7.x v11.1.x	v11.3以降ではDSのロボットの設定 > 基本タブのデフォルトオプションの設定において「SSL証明書を検証」にデフォルトでチェックがオンの状態となります。 このチェックがオンの場合は、「ターゲット抽出(Extract target)」、「REST Webサービス呼出(Call REST Web Service)」、「SOAP Webサービス呼出(Call SOAP Web Service)」のステップをロボットで実行した時に、エラーが発生する場合があります。	下記どちらかの対応でエラーが回避できます。 ・クライアントにクライアント証明書をインストールします。 ・ロボット設定の「SSL証明書を検証」のチェックをオフに変更します。
5 v10.3.x v10.4.x v10.7.x	v11.1以降仕様変更により、Set Content of Cell(セルのコンテンツ設定)ステップでフォーマットを指定せず空白でShort Textの変数をセルに入力すると、v10.xのロボットとv11.xのロボットでは、挙動が異なる事があります。	適切なExcelのフォーマットを指定します。

項番	件名	詳細
1	View As Excelに対して行った「Set Current Window」(カレントウィンドウ設定) ステップにてエラー	読み取り専用で開いたExcel(View As Excel)に対して「Set Current Window」を行った際に、ウィンドウ名称はv10.3.xからv10.7.xの日本語版DSでは「表示」となりますが、v11.1以降では「View」となり異なるため、ロボットを実行するとエラーになります。

v10.3.x ~ v10.7.x



v11.1以降

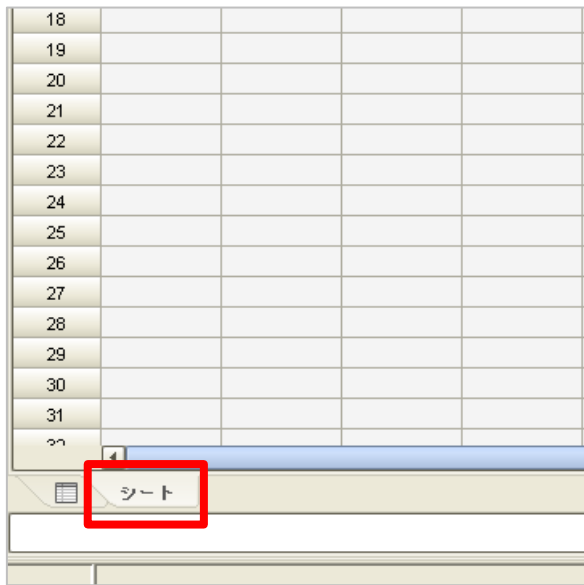


対応方法 ウィンドウ名のリストから「表示」を「View」に変更します。

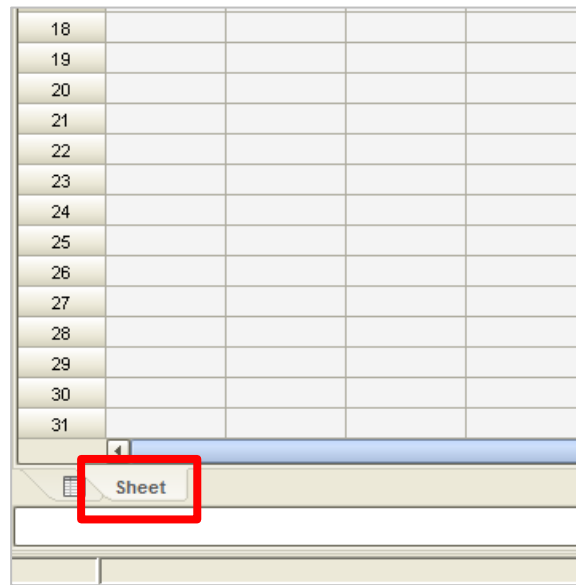
バージョンアップ時のロボットへの影響 (4/7)

項番	件名	詳細
2	セルのコンテンツ設定(Set Content of Cell)ステップにてエラー	v10.3.0.2のDS内で新規Excelを開くとシート名が“シート”となりますが、v10.3.0.7以降のバージョンはシート名が“Sheet”となり異なるため、ロボットを実行すると設定先のシートが特定できずエラーとなります。

v10.3.0.2



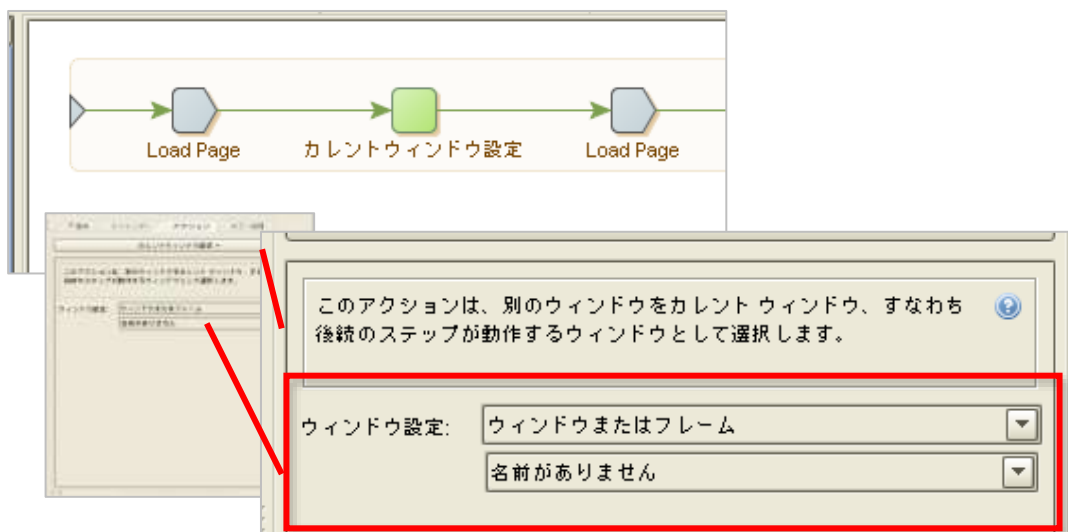
v10.3.0.7以降



対応方法 ファインダーに設定しているシート名を“Sheet”に変更します。

項番	件名	詳細
3	カレントウィンドウ設定(Set Current Window)ステップにてエラー	Load Page アクションの前段に Set Current Window アクションが自動で生成されます。v10.3.0.2ではウィンドウ設定に「名前がありません」が設定されますが、v10.3.0.7以降のバージョンでは「Unnamed」と設定され異なるため、ロボット実行するとエラーとなります。

v10.3.0.2



v10.3.0.7以降



対応方法 カレントウィンドウ設定のウィンドウ設定を“名前がありません”を正しいウィンドウ名に変更します。

項番	件名	詳細
4	ターゲット抽出(Extract target)、REST Webサービス呼出(Call REST Web Service)、SOAP Webサービス呼出(Call SOAP Web Service)ステップにてエラー	DSのロボットの設定 > 基本タブのデフォルトオプションの設定において「SSL証明書を検証」がデフォルトでチェックがオンになっています。このチェックがオンの場合は、クライアント側にインストールされているクライアント証明書を使用してサーバと認証が行われます。そのためクライアントに証明書がインストールされていない場合エラーとなることがあります。

v11.3.0.2



対応方法 DSにクライアント証明書のインストール、もしくはロボットの設定「SSL証明書を検証」のチェックをオフに変更します。

参考ナレッジ : <https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/12324872987417>

バージョンアップ時のロボットへの影響 (7/7)

項番	件名	詳細
5	v11.1以降仕様変更により、Set Content of Cell(セルのコンテンツ設定)ステップでフォーマットを指定せず空白でShort Textの変数をセルに入力すると、旧バージョンのロボットとv11.xのロボットでは挙動が異なる事があります。	Excelに「00404040」のような数値を割り当てた場合、過去バージョンではそのままの数値が入力されますが、v11.xでは数値として判定されるようになったため頭の00が省略されます。

v11.x

アプリケーション

about:blank Excel - Excel 変数

	A	B
1	00404040	
2	404040	
3		

数値と判断して頭の“00”が消える

対処方法

セルのコンテンツ設定

このアクションは、スプレッドシート内の単一セルまたは複数セルの
ます。

コンテンツ: Excel
フォーマット: 00000000

アプリケーション

about:blank Excel - Excel 変数

	A	B
1		
2	00404040	

対応方法

Excelの書式を明示的に指定する

参考ナレッジ : <https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja/articles/4818756499225>

アジェンダ

- 11.4.0.3バージョンアップ目的について
- 11.4.0.3への移行と顧客への影響
- 11.4.0.3の既知の事象について**

未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

	機能	事象	影響度	回避策
1	Kapplets	v10.xで利用していたライセンスをv11.4に適用した場合、Kappletsではライセンスのユーザ数を超えて移行および、作成されたユーザはログインできなくなります。 v10.xからバージョンアップする場合はKappletsのユーザ数制限のないライセンスへ切り替えが必要となります。 v11.4を新規でご利用の場合は、ユーザ数制限のないライセンスが発行されます。	中	あり
2	Kapplets	v11.x以降のKappletsでは、Kappletの実行をメール通知する機能が実装されていません。	中	なし
3	Kapplets	v10.xMCのバックアップからv11.xのKappletsへ移行する場合、プロジェクト単位の移行（プロジェクト単位のエクスポート・インポート）ではKappletsの移行ができません。	中	あり
4	Kapplets	Kappletsのユーザー画面で無効にしたユーザーでも、Kappletsにログインできます。 ただし、Kappletsでの権限は無効となっているため、kappletの操作はできません。	小	なし
5	Kapplets	入力値を設定しているKapplet実行画面にて、「テンプレートの並べ替え」を押下すると、入力した入力値がクリアされます。	小	なし
6	Kapplets	OAuthCredentials型の入力値が存在するKapplet実行にて、「テンプレートの並べ替え」を押下すると、OAuthユーザーが選択できません。	小	あり

不具合の状況については、RPAT社のナレッジポータルにて随時最新の状況が公開されています。

BizRoboナレッジベース：<https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja>

未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

	機能	事象	影響度	回避策
7	MC	過去に作成したスケジュールを編集する場合、開始日付を現在日付以降を設定しないと、OKボタンを押せません。	小	あり
8	MC	MCのリポジトリおよびスケジュールの表示において、情報が重複して表示されることがあります。本事象は、表示画面でデータをソート、もしくは全件表示できる件数で画面を表示すると解消します。	小	あり
9	MC	ログビューのフィルタ日時の設定において開始と終了に月日を設定すると、自動で「00:00」と「23:59」が設定されますが、OKボタンを押下後、画面に設定されるフィルタが終了の時間に「00:00」が設定され該当なしとなります。 例) 5/1 00:00 ~ 5/1 23:59をフィルタで設定 5/1 00:00 ~ 5/1 00:00が設定されて、該当なしとなる	小	あり
10	MC	ログビュー > スケジュール実行のコンテキストメニュー「この実行からメッセージを削除」を選択しても、スケジュールメッセージは削除されません。	小	あり
11	MC	ログビュー > スケジュール実行のコンテキストメニュー「現在のフィルタに一致する実行(xx)からすべてのメッセージを削除」を選択しても、スケジュールメッセージは削除されません。	小	あり

不具合の状況については、RPAT社のナレッジポータルにて随時最新の状況が公開されています。

BizRoboナレッジベース：<https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja>

未解消事象があるものの、回避策適用によりの影響は軽微

	機能	事象	影響度	回避策
12	MC	ログビュー > ロボット実行のコンテキストメニュー「この実行のメッセージを削除」を選択すると、実行のメッセージは削除できますが、スケジュールメッセージが存在しないというエラーになります。	小	なし
13	MC	ログビュー > ロボット実行のコンテキストメニュー「現在のフィルターに一致する実行（件数）からのすべてのメッセージを削除」を実行するとエラーメッセージが表示されます。	小	なし
14	MC	MC > バックアップで「プロジェクトのインポート」を行うとエラーとなる場合があります。 発生条件は以下の通りです。 インポートするプロジェクトに、スケジュールとトリガーマッピングの両方が存在すること。	小	あり
15	DS	DSのエクスペッションなどで表示される関数が解像度：1920 × 1080のディスプレイでは全てを表示できません。	小	あり

不具合の状況については、RPAT社のナレッジポータルにて随時最新の状況が公開されています。

BizRoboナレッジベース：<https://knowledge.bizrobo.com/hc/ja>

v11.4.0.3の既知の事象 (4/18)

項番1：v10.xで利用していたライセンスをv11.4に適用した場合、Kappletsではライセンスのユーザ数を超えて移行および、作成されたユーザはログインできなくなります。v10.xからバージョンアップする場合は、Kappletsのユーザ数制限のないライセンスへ切り替えが必要となります。

The screenshot shows the login interface for KOFAX RPA Kapplets. At the top left, the logo reads "KOFAX RPA Kapplets". The main content area contains a login form with the following elements:

- A red-bordered error message box: "ライセンスで許容されている一時的ユーザ数の上限に達しました。管理者に連絡してください。"
- The text "ログインしてください"
- Input fields for "ユーザー名" and "パスワード"
- A blue "ログイン" button

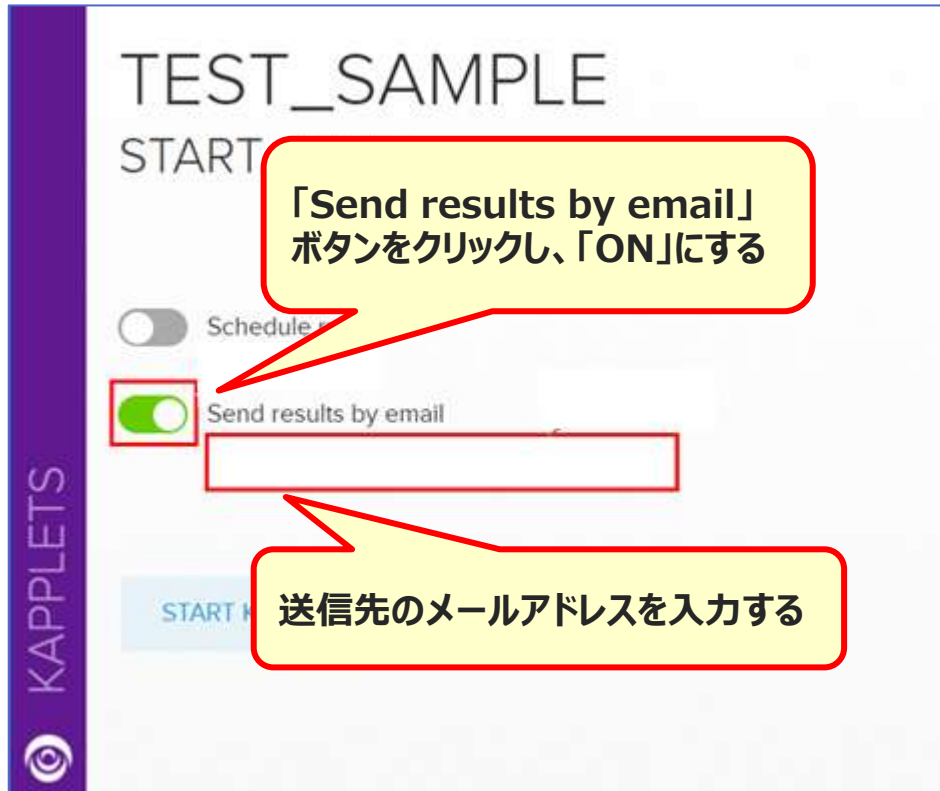
A yellow callout box with a red border points to the error message, containing the text: "ユーザ数の制限を超えている場合、エラーとなりログイン不可"

At the bottom center, the footer text reads: "Powered by Kofax RPA™ Kapplets 11.0.4.402"

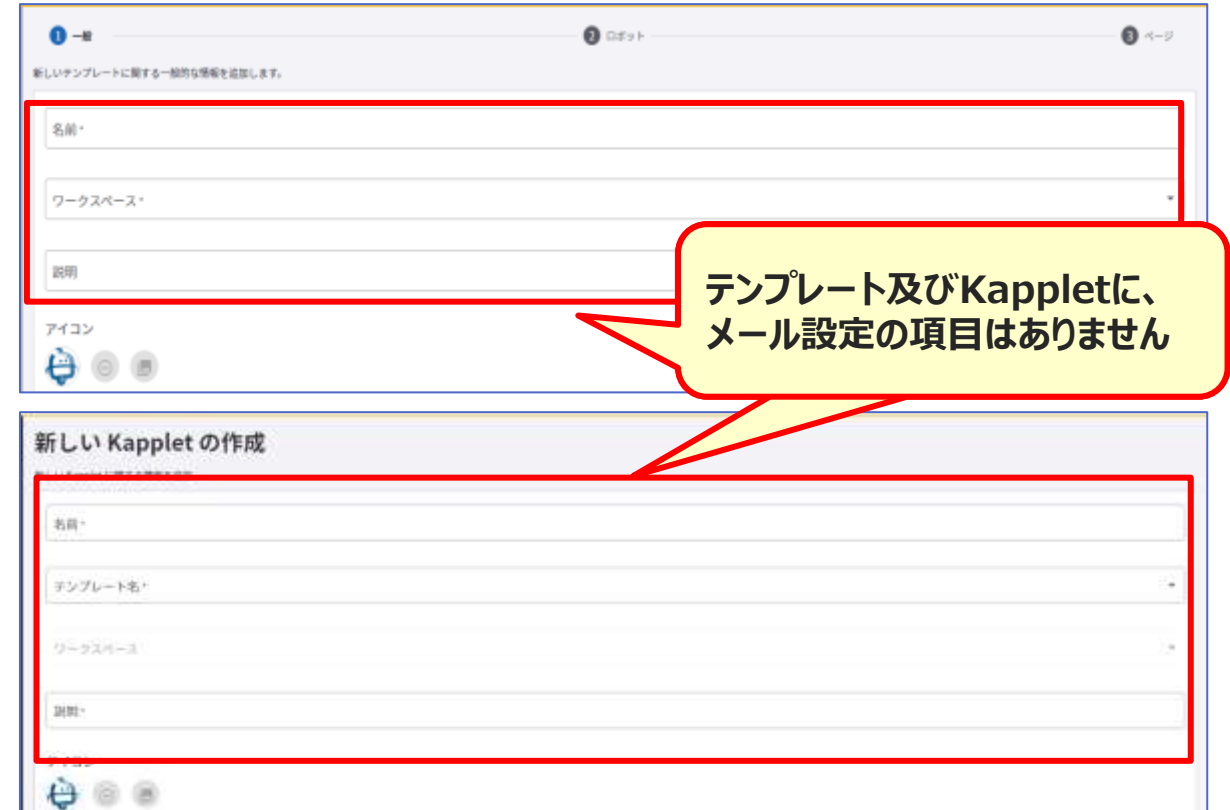
v11.4.0.3の既知の事象 (5/18)

項番2 : v11.x以降のKappletsでは、Kappletの実行をメール通知する機能が実装されていません。
v10.xのKappletでは、下記のような設定をすることで、Kappletの実行をメール通知することができました。
v11でKappletが一新されましたが、本機能は現在未実装となっています。

v10.x



v11.3



※Kappletの実行をメール通知するためにはMCでのアドレス設定とKappletでの設定が必要となります。

v11.4.0.3の既知の事象 (6/18)

項番3 : v10.xMCのバックアップからv11.xへ移行する場合、v11からKappletsの構成が大きく変わったため、プロジェクト単位の移行（プロジェクト単位のエクスポート・インポート）ではKappletsの移行ができません。Kappletsの移行では、フルバックアップからの一括移行を実施してください。

v10.x

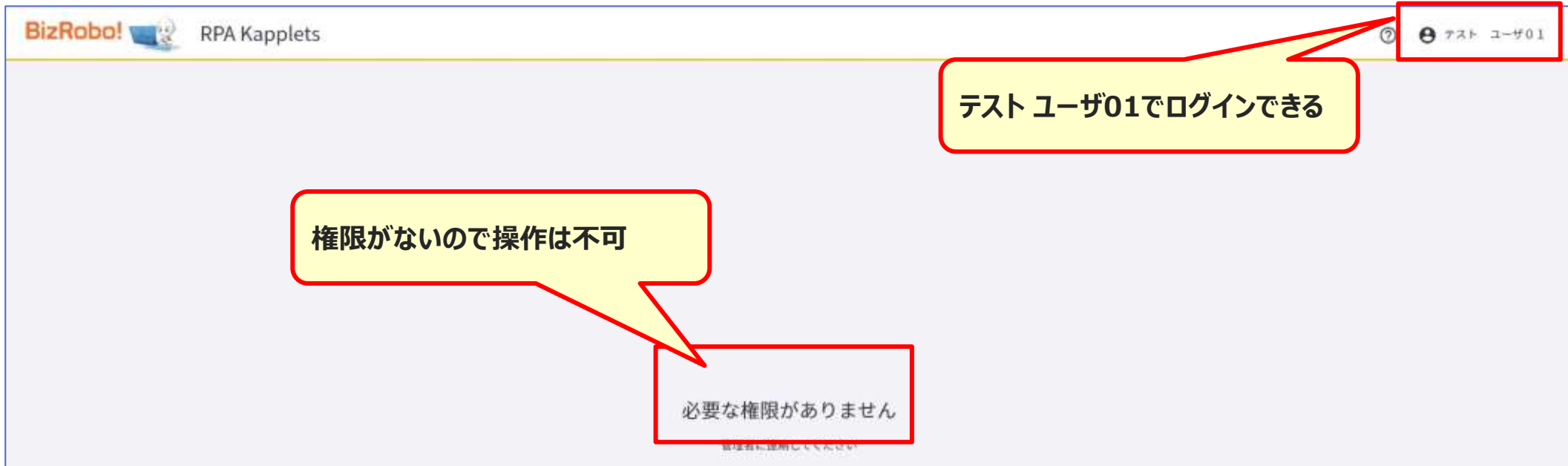
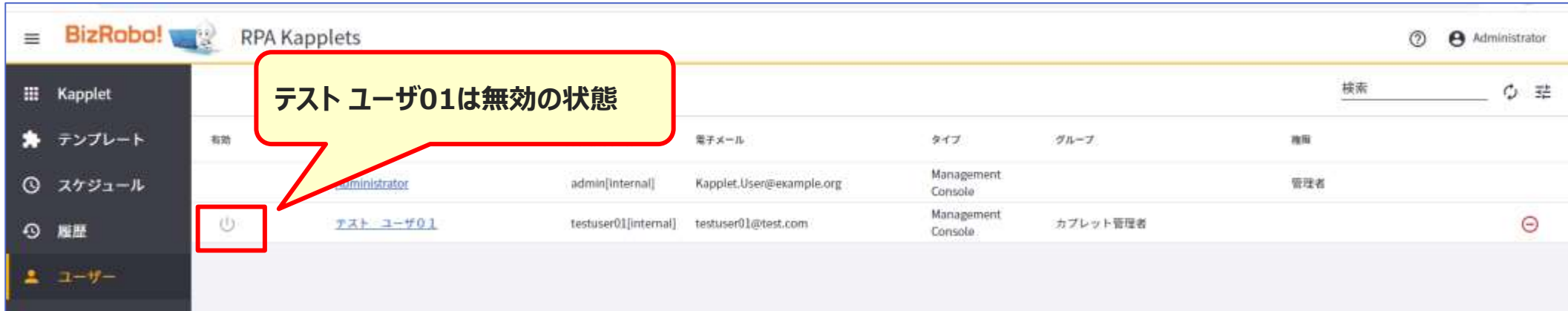


v11.3



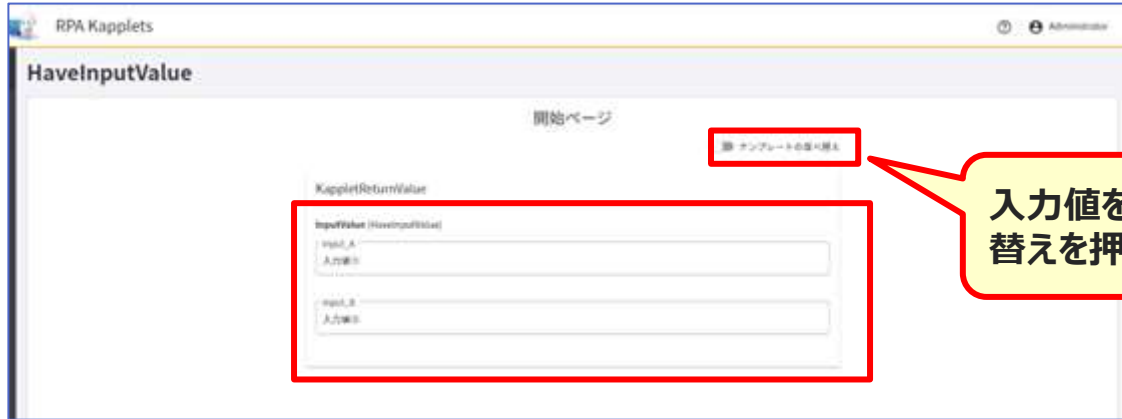
v11.4.0.3の既知の事象 (7/18)

項番4 : Kappletsのユーザー画面で無効にしたユーザーでもKappletsにログインできます。
ただし、Kappletsでの権限は無効となっているため、kappletの操作はできません。



v11.4.0.3の既知の事象 (8/18)

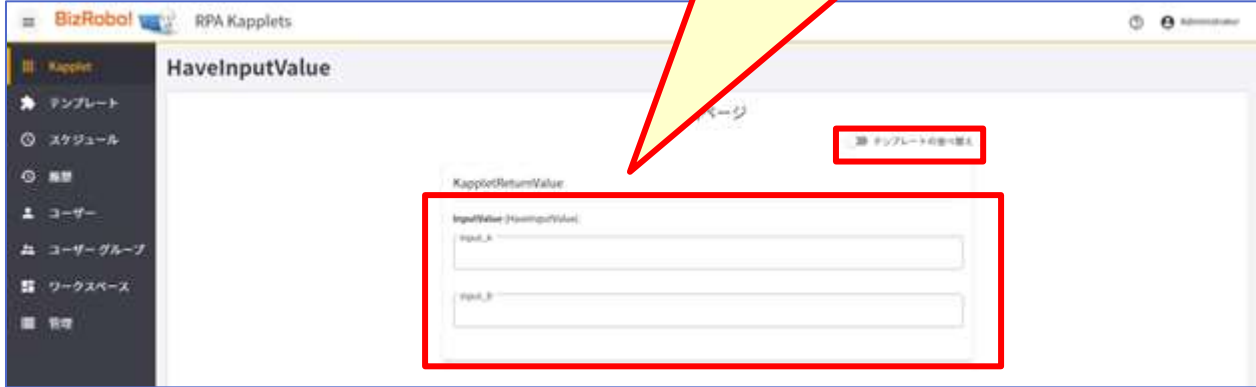
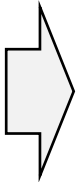
項番5：入力値を設定しているKapplet実行画面にて、「テンプレートの並べ替え」を押下すると、入力した入力値がクリアされます。



入力値を入力後、テンプレートの並べ替えを押下する



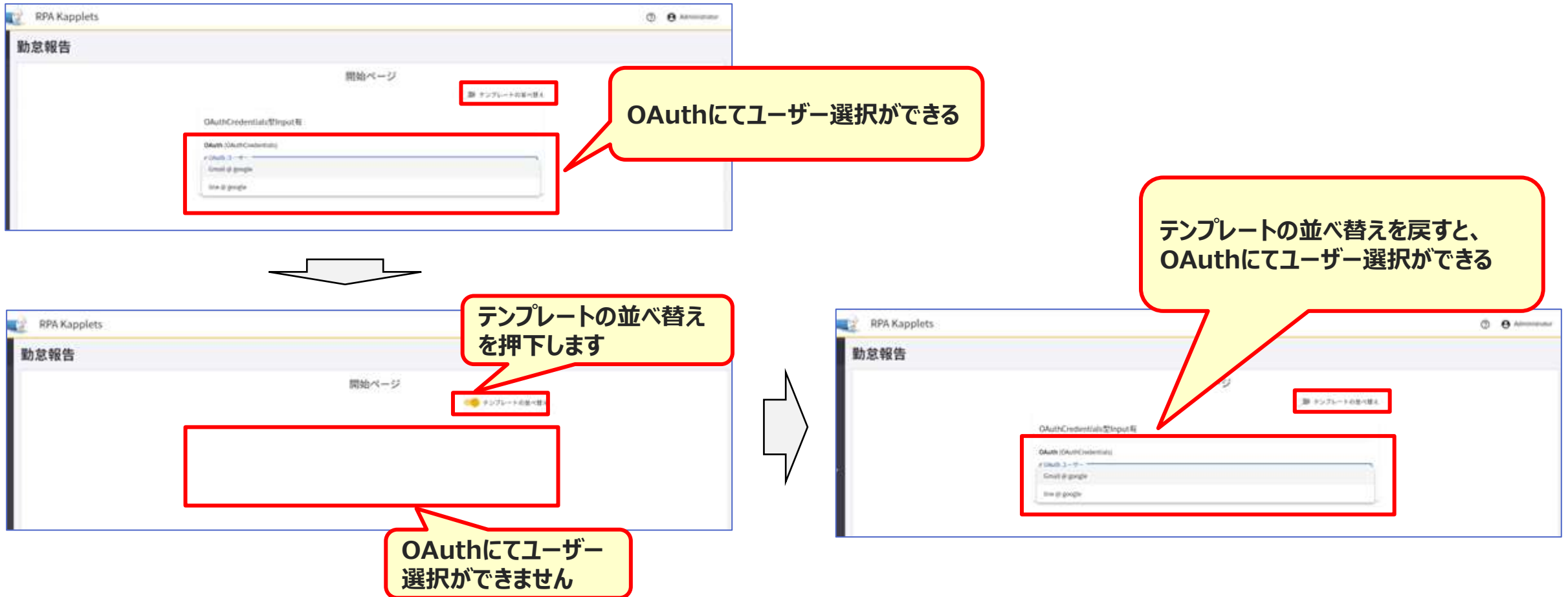
入力値がクリアされる



並べ替えを戻しても、入力した値は復活しません

v11.4.0.3の既知の事象 (9/18)

項番6 : OAuthCredentials型の入力値が存在するKapplet実行にて、「テンプレートの並べ替え」を押下すると、OAuthユーザーが選択できません。



v11.4.0.3の既知の事象 (10/18)

項番7：過去作成したスケジュールを編集する場合、開始日付を現在日付以降を設定しないとOKボタンは押せません。

The screenshot shows a web interface for editing a schedule. The '基本' (Basic) tab is active. The schedule name is 'DS_90秒待機するロボット'. The 'アクティブ' (Active) checkbox is unchecked, and 'シンプル' (Simple) is selected. The interval is set to 1 minute. The start time is 12:30. The start date is 2022/8/3, which is highlighted with a red box. A callout points to this date, stating: 'スケジュールの編集を行う場合、日付が過去日になっていると保存ができない' (When editing a schedule, if the date is in the past, it cannot be saved). At the bottom, the 'OK' button is highlighted with a red box, and a callout states: 'OKボタンは非活性のまま' (The OK button remains inactive). The 'キャンセル' (Cancel) button is also visible.

v11.4.0.3の既知の事象 11/18)

項番8：MCのリポジトリおよびスケジュールの表示において、情報が重複して表示されることがあります。本事象は、表示画面でデータをソート、もしくは全件表示できる件数で画面表示すると解消します。下記画面で事象の発生を確認しています。

スケジュール、パスワードストア、ロボットファイルシステム（下記画面イメージはスケジュール画面）

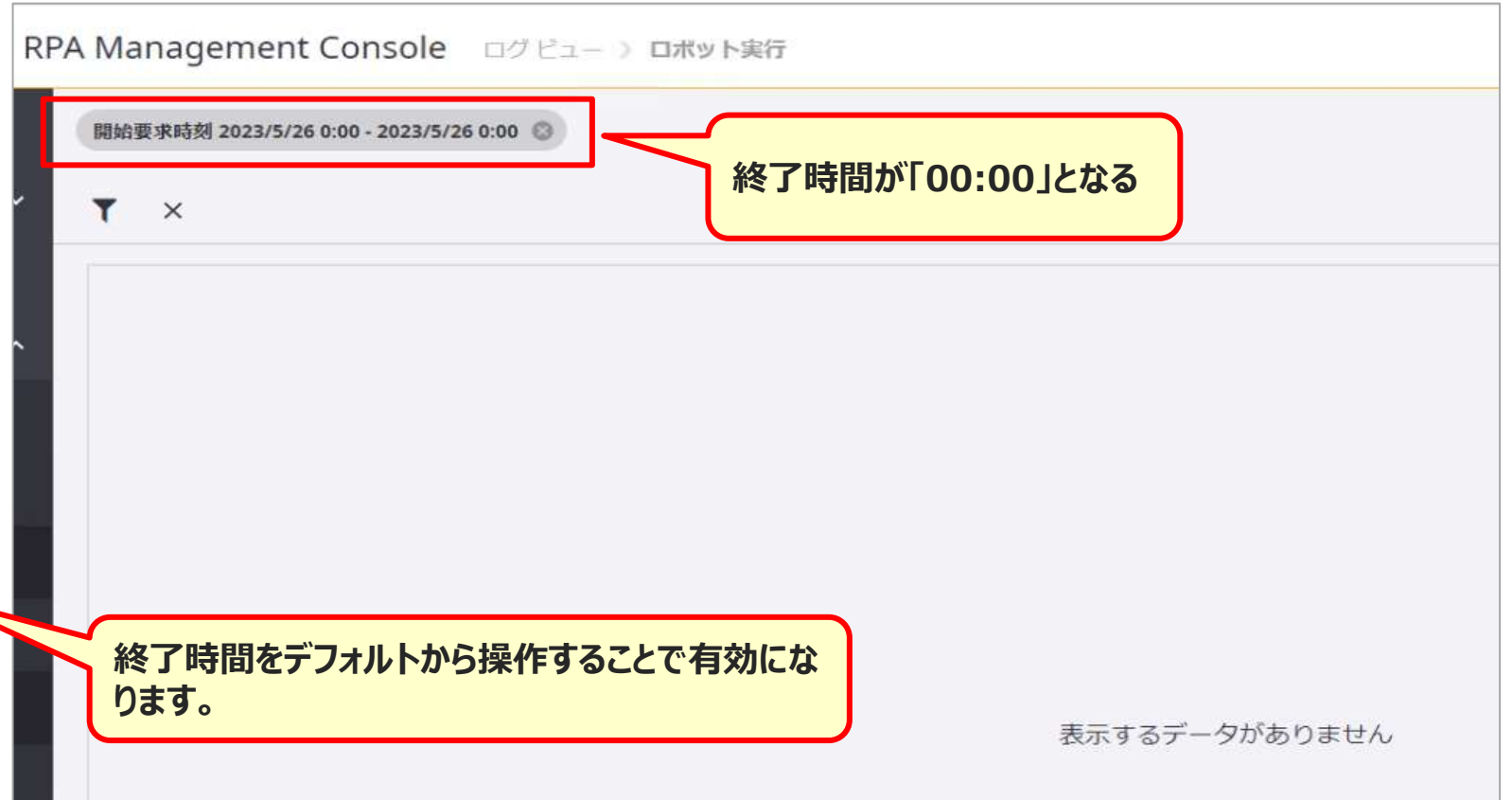
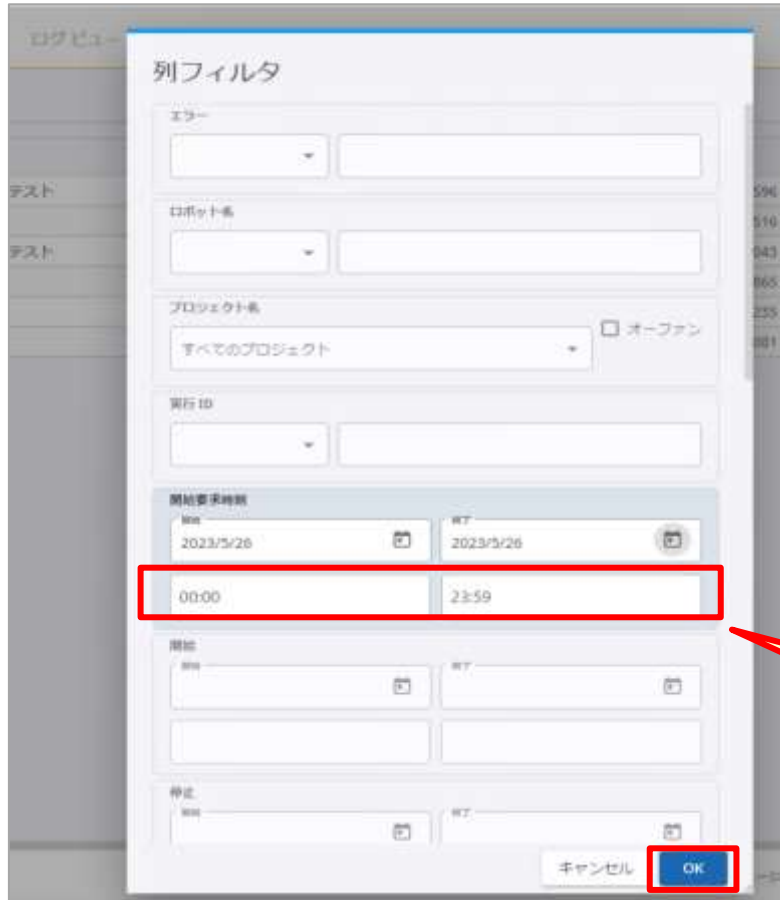
1ページ目（左図）と2ページ目（右図）で同じスケジュール情報が重複して表示され、本来登録されているスケジュールが見えない状態となります

ページごとの表示数：10件
総件数：15件

アクティブ	名前	プロジェクト名	ジョブカウント	次の実行	前の実行	間隔	合計実行数	エラー	ロボットのエラー
<input type="checkbox"/>	DA接続確認1	Default project	1 (1)	2023/5/19 16:45	2023/5/19 16:40	5分ごと	1	0	0
<input type="checkbox"/>	DA接続確認2	Default project	1 (1)	2023/5/19 16:45	2023/5/19 16:40	5分ごと	1	0	0
<input type="checkbox"/>	確認ロボット実行	Default project	1 (1)	2023/5/19 16:45	2023/5/19 16:10	5分ごと	18	0	0
<input type="checkbox"/>	RFSを確認1	Test01 Project	1 (1)	2023/5/19 16:45	2023/5/19 16:10	5分ごと	14	0	0
<input type="checkbox"/>	RFSを確認2	Test01 Project	1 (1)	2023/5/19 16:45	2023/4/17 11:00	5分ごと	1155	該当なし*	該当なし*
<input type="checkbox"/>	スケジュール1	Test01 Project	1 (1)	2023/6/1 16:45					
<input type="checkbox"/>	スケジュール1.0	Test01 Project	1 (1)	2023/6/1 16:45					
<input type="checkbox"/>	スケジュール2	Test01 Project	1 (1)	2023/6/1 16:45					
<input type="checkbox"/>	スケジュール3	Test01 Project	1 (1)	2023/6/1 16:45					
<input type="checkbox"/>	スケジュール4	Test01 Project	1 (1)	2023/6/1 16:45					

v11.4.0.3の既知の事象 (12/18)

項番9：ログビューのフィルタ日時の設定において開始と終了に月日を設定すると、自動で「00:00」と「23:59」が設定されますが、OKボタンを押下後、画面に設定されるフィルタが終了の時間に「00:00」が設定され該当なしとなります。



v11.4.0.3の既知の事象 (13/18)

項番10 : ログビュー > スケジュール実行

コンテキストメニュー「この実行からメッセージを削除」を選択しても、スケジュールメッセージは削除されません。
スケジュールメッセージを削除する場合は、ログビュー > スケジュールメッセージの画面で削除してください。

The screenshot shows the BizRobo! RPA Management Console interface. The left sidebar contains navigation items: スケジュール, リポジトリ, データビュー, ログビュー, **スケジュール実行**, スケジュール メッセージ, ロボット実行, and ロボット メッセージ. The main area displays a table of execution logs with columns for execution ID, project name, start/end times, MC count, key count, total time, and status. A context menu is open over the table, listing actions like 'この実行からメッセージを表示', 'このスケジュールのすべての実行', 'ロボットの実行を表示', 'ロボットのエラーを表示', 'この実行からメッセージを削除', 'この実行とすべてのメッセージを削除', '現在のフィルタに一致する実行 (38) からのすべてのメッセージを削除', and '現在のフィルタに一致するすべての実行 (38) とそのメッセージを削除'. A red callout box points to the 'この実行からメッセージを削除' option with the text: 'このメニューを選択しても対象のスケジュールメッセージは削除されません'.

エ...	ロボッ...	スケジュール名	実行 ID	プロジェクト名	開始	停止	MC サ...	キー...	合計時間	警告	情報	...
0	0	DA...			2023-05-19 16:55:15.004	2023-05-19 16:55:38.599	lsyncrq001...	230	23595	0	1	19
					2023-05-19 16:55:14.993	2023-05-19 16:55:26.787	lsyncrq001...	111	11794	0	1	19
					2023-05-19 16:50:15.007	2023-05-19 16:50:38.679	lsyncrq001...	123	23672	0	1	19
					2023-05-19 16:50:14.994	2023-05-19 16:50:26.784	lsyncrq001...	46	11790	0	1	19
			9	Default project	2023-05-19 16:45:15.013	2023-05-19 16:45:40.566	lsyncrq001...	118	25553	0	1	19
			8	Default project	2023-05-19 16:45:14.996	2023-05-19 16:45:28.535	lsyncrq001...	67	13537	0	1	19
			7	Test01 Project	2023-05-19 16:40:51.724	2023-05-19 16:40:57.013	lsyncrq001...	589	5289	0	1	19
			6	Test01 Project	2023-05-19 16:40:51.706	2023-05-19 16:40:54.917	lsyncrq001...	462	3211	0	1	19

v11.4.0.3の既知の事象 (14/18)

項番11：ログビュー > スケジュール実行

コンテキストメニュー「現在のフィルタに一致する実行(xx)からすべてのメッセージを削除」を選択しても、スケジュールメッセージは削除されません。

スケジュールメッセージを削除する場合は、ログビュー>スケジュールメッセージの画面で削除してください。

The screenshot shows the BizRobot RPA Management Console interface. The left sidebar contains navigation items: スケジュール, リポソトリ, データビュー, ログビュー, and its sub-items: スケジュール実行, スケジュール メッセージ, ロボット実行, ロボット メッセージ, and ロボットの概要. The main area displays a table of scheduled task executions. A context menu is open over the table, with the option '現在のフィルタに一致する実行 (8) からのすべてのメッセージを削除' highlighted by a red box. A yellow callout box with a red border points to this option, containing the text: 'このメニューを選択しても対象のスケジュールメッセージは削除されません'.

エ...	ロボッ...	スケジュール名	実行 ID	プロジェクト名	開始	停止	MC サ...	キュー...	合計時間	警告	情報	
0	0	DA接続確認2	1163	Default project	2023-05-19 16:55:15.004	2023-05-19 16:55:38.599	lsyncrq001...	230	23595	0	1	19
この実行からメッセージを表示												
このスケジュールのすべての実行を表示												
ロボットの実行を表示												
ロボットのエラーを表示												
この実行からメッセージを削除												
この実行とすべてのメッセージを削除												
現在のフィルタに一致する実行 (8) からのすべてのメッセージを削除												
現在のフィルタに一致するすべての実行 (8) とそのメッセージを削除												

v11.4.0.3の既知の事象 (15/18)

項番12 : ログビュー > ロボット実行

コンテキストメニュー「この実行のメッセージを削除」を選択すると、実行のメッセージは削除できますが、「スケジュールメッセージが存在しない」というエラーが表示されます。

The screenshot shows the BizRobot! RPA Management Console interface. On the left is a navigation menu with items like 'スケジュール', 'リポジトリ', 'データビュー', 'ログビュー', 'スケジュール実行', 'スケジュールメッセージ', 'ロボット実行', 'ロボットメッセージ', and 'ロボットの概要'. The main area displays a table with columns for 'エラー', 'ロボット名', 'プロジェクト名', and '実行ID'. Two rows are visible, both with '0' in the error column and 'testWait10s' in the robot name column. A context menu is open over the second row, with the option 'この実行からメッセージを削除' highlighted. A red box highlights the error count '0' in the first row.

エラー	ロボット名	プロジェクト名	実行ID
0	testWait10s	Default project	-1-10-328628245a1cc
0	testWait10s	Default project	-1-9-328628245a1cc
		project	20066-7-328628245a1cc

エラーメッセージが表示される

ログビュー > ロボット実行
'20010' 実行ID のスケジュールメッセージが見つかりません

対象メッセージは削除されている

The screenshot shows the BizRobot! RPA Management Console interface with the 'ロボットメッセージ' view selected. It displays a table of messages with columns for '実行ID', 'メッセージ', 'ステータス', '実行日時', '実行ID', and 'ロボット名'. Two messages are listed, both with status 'Success' and execution time '2023-08-25 17:05:44.081'.

実行ID	メッセージ	ステータス	実行日時	実行ID	ロボット名
-1-10-328628245a1cc	Robot status	Success	2023-08-25 17:05:44.081	-1-10-328628245a1cc	testWait10s
20066-7-328628245a1cc	Robot status	Success	2023-08-25 17:05:44.081	20066-7-328628245a1cc	testWait10s

v11.4.0.3の既知の事象 (16/18)

項番13 : ログビュー > ロボット実行

コンテキストメニュー「現在のフィルタに一致する実行（件数）からのすべてのメッセージを削除」を実行するとエラーメッセージが表示されます。

The screenshot shows the BizRobot! RPA Management Console interface. The left sidebar contains navigation items: スケジュール, リポジトリ, データビュー, ログビュー, スケジュール実行, スケジュールメッセージ, **ロボット実行**, ロボットメッセージ, ロボットの概要, and RoboServer メッセージ. The main area displays a table with columns: エラー, ロボット名, プロジェクト名, and 実行 ID. The table contains three rows, all with '0' in the error column and 'testWait10s' in the robot name column. A context menu is open over the second row, with the option '現在のフィルタに一致する実行 (3) からのすべてのメッセージを削除' highlighted in red.

エラー	ロボット名	プロジェクト名	実行 ID
0	testWait10s	Default project	20061-5-328628245a1cc
0	testWait10s	Default project	
0	testWait10s	Default project	

エラーメッセージが表示される

指定した検索パラメータが正しくありません: robotName:CONTAINS: X

The screenshot shows the BizRobot! RPA Management Console interface after the deletion action. The table is empty, and a message at the bottom right says '表示するデータがありません'.

削除はされている

v11.4.0.3の既知の事象 (17/18)

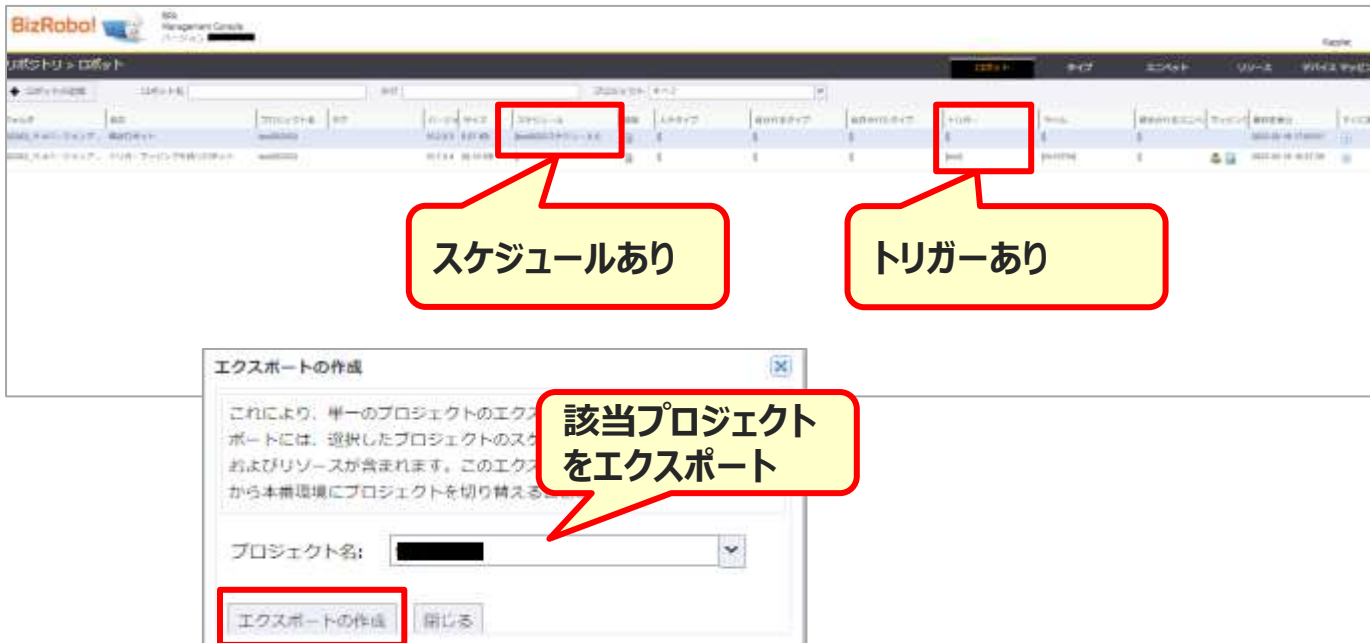
項番14：MC > バックアップで「プロジェクトのインポート」を行うとエラーとなる場合があります。

発生条件：スケジュールとトリガーを含むプロジェクト

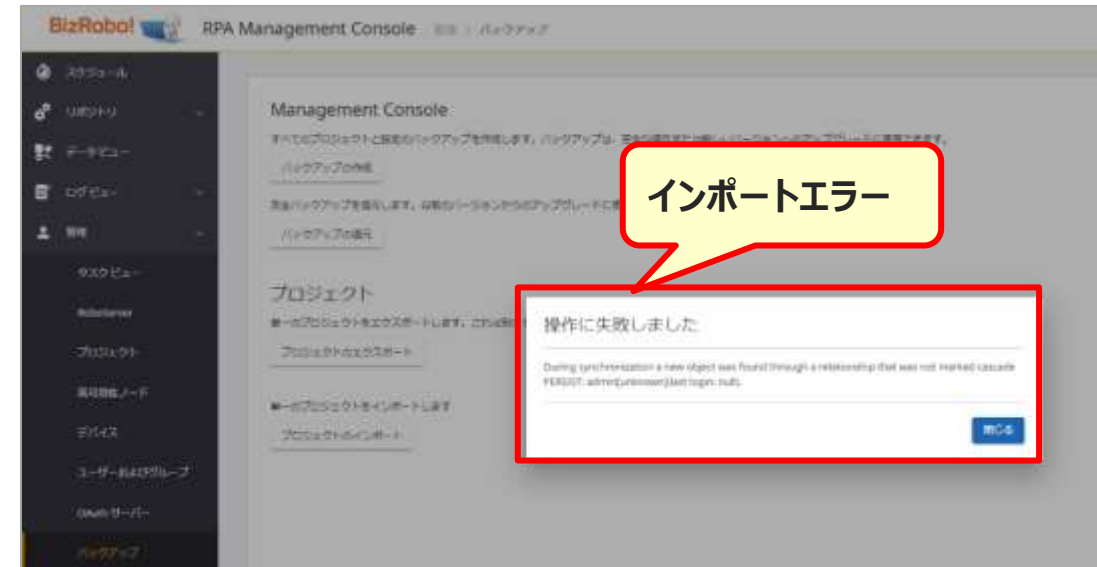
以下いずれかの方法でリストアしてください

1. フルバックアップ/リストアで移行する
2. プロジェクトのインポート時に、スケジュールとプロジェクトを対象外にしてインポートした後、改めてスケジュールとプロジェクトを対象にしてインポートする

v10.x



v11.4

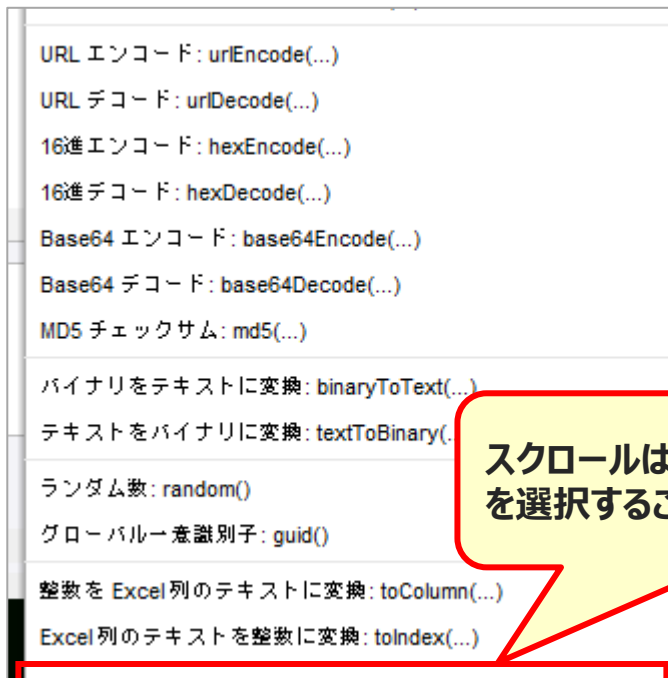
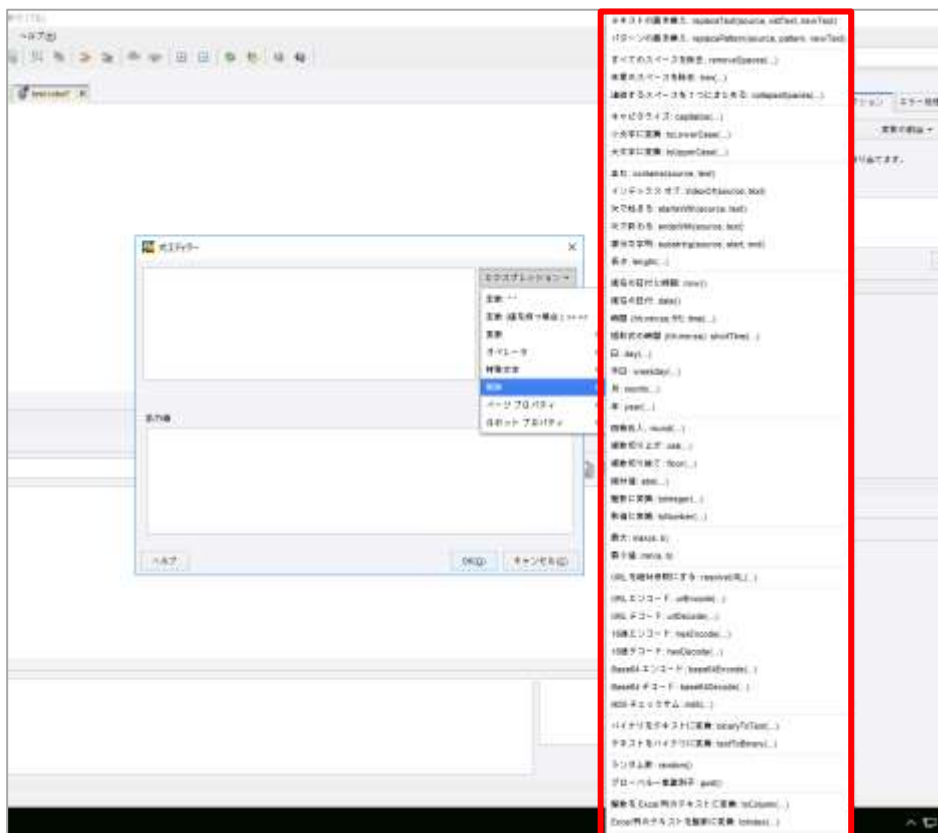


v11.4.0.3の既知の事象 (18/18)

項番15 : DSのエクスペッションなどで表示される関数リストが、
解像度 : 1920 × 1080のディスプレイでは全てを表示できません。

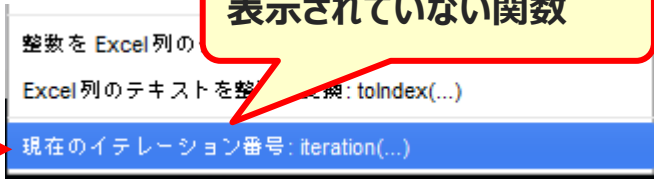
リストに表示されない関数は式エディタで直接入力してください。

対象 : 「現在のイテレーション番号:iteration」



スクロールはできず、隠れている関数
を選択することができない

表示されていない関数



 SoftBank